

SSH（スーパーサイエンスハイスクール）事業では、様々な体験学習や発表会が行われます。今回は2学期に実施した体験学習と発表会についてご案内します。

理数科1年

## 観望会

10月1日～3日

「第一線の研究者・技術者等から直接講義や実習指導を受けることにより、科学技術に関する興味・関心を高め、学ぶ意欲を育てる」ことを目的に、国立科学博物館、東京大学（航空宇宙工学・情報工学・電気系工学）、東京工業大学（化学工学・物性物理学・機械工学）、高エネルギー加速器研究機構、物質・材料研究機構、理化学研究所（横浜・つくば）、日本科学未来館で研究室見学、実験実習等の研修を行いました。最先端の科学技術に実際に触れて、多くの新たな発見をしました。

### 東京大学



航空宇宙工学



情報工学

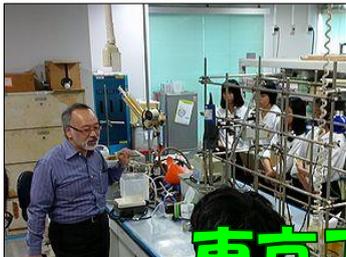


高エネルギー  
加速器研究機構



物質・材料  
研究機構

### 化学工学



### 物性物理学



### 東京工業大学



理化学研究所  
（横浜）



理化学研究所  
（つくば）



機械工学



国立科学博物館 日本科学未来館



東大生（小松高OB）  
との懇談会

#### 《生徒の感想》

- 日本の最先端のことを勉強できるのは滅多にない機会なので、参加できて本当によかったと思います。
- 今回の行事で科学がもっと好きになりました。また、将来の事について考えるいい機会になりました。



理数科2年  
課題研究発表会  
11月1日

本校のオープンスクールの日には課題研究校内発表会が行われました。4月の開講式からおよそ半年間、10グループがそれぞれのテーマに一生懸命取り組み、研究してきた成果を、パワーポイントを駆使して発表しました。また、審査員として北陸先端科学技術大学院大学、金沢大学、石川県立大学の先生方をお招きして、審査、講評をしていただきました。

課題研究校内発表会テーマ

1	日付による解答者決定法	数学分野
2	陶芸における焼成前後の釉薬の発色について	化学分野
3	効率的な避難方法	数学分野
4	音響レンズの虚像	物理分野
5	視聴率の予測	数学分野
6	食虫植物はどうやってエサだと認識するのか	生物分野
7	ある男性教師の結婚する確率	数学分野
8	ピンから液体を注ぐときに出るトクトク音について	物理分野
9	奇数の $i$ 乗和	数学分野
10	油脂・脂肪酸の違いによる石けんの性質の違いについて	化学分野

12月11日（金）に石川県文教会館ホールで行われる「石川県SSH生徒研究発表会」では、「陶芸における焼成前後の釉薬の発色について」、「視聴率の予測」が、小松高校の代表として口頭発表を行いました。それ以外の研究グループは、今回の発表内容をまとめて、模造紙（AOノビ版）1枚のポスターを作成し、ポスター発表を行いました。



理数科2年  
韓国科学交流  
12月13日~16日

理数科と普通科の2年生の希望者22名が韓国・大田科学高校を訪問し科学交流を行いました。科学交流では、本校の課題研究「食虫植物はどうやってエサだと認識するのか」「日付による解答者決定法」の発表を行いました。また、大田科学高校の研究発表も行われました。

学校訪問後は、韓国科学技術院（KAIST）、韓国電子通信研究院（ETRI）、国立果川科学館などを訪問しました。



大田科学高校講堂



課題研究発表



KAIST



ETRI